

▼休みに時間にトランプで遊ぶシニアスクールの受講生と子どもたち。



受講生とのふれあいを通して、それまで気づかなかった子どもたちの優しい一面を発見できた」というのは、子どもたちを温かく見守る三里塚小学校の先生の言葉です。相手を思いやる気持ちや基本的なマナー、授業のない日にも、野菜の収穫を祝う「ほくほく集会」や学習発表会といった学校行事に受講生が参加し、さまざまな場面で交流を深めていました。

「受講生とのふれあいを通して、それまで気づかなかった子どもたちの優しい一面を発見できた」というのは、子どもたちを温かく見守る三里塚小学校の先生の言葉です。相手を思いやる気持ちや基本的なマナー、



▼6年生と図工の授業。力を合わせて作業に取り組んでいます。

卒業生に聞きました

ほんま かずゆき
本間 和幸さん



平成20年度募集について

平成20年度（第3期）の受講生の募集は、**広報さっぽろ4月号**に掲載する予定です。幅広い知識を身に付けたい、子どもたちと交流したい、同世代の仲間をつくりたい…そんな皆さんの応募をお待ちしています。

清田区民シニアスクールに関する
お問い合わせ先はこちら
地域振興課地域活動担当係
☎889-2400（内線256）

■シニアスクールを受講しようと思った理由を教えてください。
□広報さっぽろなどで募集を知りました。実生活に結びつく授業内容にひかれ、「これだ!」と思って申し込みました。

■学校生活はいかがでしたか？
□朝は子どもたちと一緒に登校して、同じように授業を受けて…学校に通うという姿勢が自然と整って、節度ある生活を送ることができました。休みに子どもたちとふれあうこともできました。これがシニアスクールの一番の魅力ではないでしょうか。

■子どもとの交流はどうでしたか？
□最初は照れくさかって子どもたちになじめなかった人も、こま回しなど昔遊びを教えてあげるうちに、だんだんと打ち解けていきました。ほくほく集会で仲良くなった子どもが、休みに「本間さん、本間さん」とよく遊びにきてくれたのがとてもうれしかったですね。ふれあいを通して、人を大切にすることをはぐくんでくれると願っています。

■同期の皆さんとはどのような交流がありましたか？
□率先してみんなをまとめてくれた担任の先生のおかげで、いいクラスになったと思います。同期会を結成して、日帰り旅行や温泉に行ったり…みんなそれぞれ、何かを始めるチャンスを探っていた人ばかり。これからもみんなでいろいろなことにチャレンジしていけるのではないのでしょうか。

■シニアスクールを受講して、自分の中で変わったことはありますか？
□幅広いジャンルの知識を得て、日常のちょっとしたことも新鮮に感じるようになったり、一つ一つの意味を考えるようになりました。シニアスクールで生まれた子どもたちとのきずな、仲間とのきずなは、お金には換えられません。新しいことへの挑戦、子どもたちとの交流、ふれあいは私にとって大きな変革だったと思っています。

シニアスクールの思い出を語る生き生きとした表情が印象的でした。ご協力ありがとうございました!!